

■テーマ：「地域のアウトドア・レクリエーションと資源空間の管理」

コーディネーター 東京農業大学地域環境科学部教授

麻 生 恵

■趣 旨：

新しい国土総合開発計画において「多自然居住（田園居住）」、「ガーデンアイランド構想」が提唱されるなど、21世紀を迎えて国土（地方、地域）に対する国民の意識やそこでのライフスタイルが大きく変わろうとしている。地域が保有する美しい景観や自然環境、歴史的資産などに囲まれて、心豊かに生活するという新しいライフスタイルが志向されてきたといえる。一方で、第一次産業の衰退などにより、自然環境を中心とする対象空間の状況も著しく変化しつつあり、その管理問題が顕在化するようになった。また、それらを市民（ユーザー）自身がボランティア活動などで管理を行うという動きも見られるようになった。

昨年の大分大学のワークショップでは、茨城県を対象とした地域資源としてのレクリエーション空間の状況（問題点や課題）を整理し、さらに阿蘇の草原における野焼きボランティアや東京近郊の事例報告を中心に議論したが、時間的な制約もあり、十分な議論が出来なかった。そこで、今回はイギリスの田園地域におけるアウトドア・レクリエーションの事例紹介も新たに加えながら、この問題の議論を深めたい。

■話 題 提 供 イギリスのカントリーライフとアウトドア・レクリエーション  
荒井 歩（東京農業大学地域環境科学部助手）

■ワークショップ ファシリテーター：栗田 和弥（東京農業大学地域環境科学部講師）  
○参加者全員で議論し、今後の方向性や研究課題などについてまとめる。

■総 括 麻生 恵（東京農業大学教授）